

当社はひょうご産業 SDGs 認証事業者として、下記の SDGs 達成目的を掲げ、役員・社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより目標達成を目指します。

No.	項目	内容
1	5年以内に目指す目標	環境にも人にも優しい「空気調和設備」の設置・更新台数を増加させる。 基準年度値 2022年度 64台（設置台数16台、更新台数48台） 目標年度値 2025年度 80台（設置台数20台、更新台数60台）
2	関連する SDGs のゴール	13
3	具体的な取組内容	空気調和設備とは、冷暖房設備・換気設備などを設置し、建物内の空間を快適にする設備であり、これまでより高効率冷暖房、熱損失の少ない換気設備による環境配慮にしたものである。 当社が強みとする自社施工技術を活かして、問い合わせがあった顧客に提案を行う。また更新の顧客には、これまでの設備と効率性の比較を定量的に行い、付加価値の高い設備導入を進める。 提案は代表者および施工管理技術者4名が行っていく。

No.	項目	内容
1	5年以内に目指す目標	有給休暇消化率を向上させる。 2022年度の38.13%から2025年度は50%以上にする。
2	関連する SDGs のゴール	3, 8
3	具体的な取組内容	従業員が平等に有給休暇を消化できるよう、年間計画を立てる。 計画を作成するにあたって、従業員からあらかじめ希望の日程を確認する。 人手不足を割けるため繁忙期である2月・3月を避けて、計画的かつ安心して休暇が取れるように整備する。

No.	項目	内容
1	5年以内に目指す目標	電力、ガソリン、軽油使用量を削減して、CO2排出量を約1.7%削減する。 2022年度の38,592kgから2025年度は37,935kg以下にする。
2	関連する SDGs のゴール	7, 13
3	具体的な取組内容	社用車や重機の運転効率を高めるために、環境省が推進する「エコドライブ10のすすめ」を社内で共有し、継続推進していく。社用車は月1回燃費状況等を運転日誌にて環境事務局が確認する。 不要な荷物の搭載を避けるため、車中の5S活動を推進する。 社用車更新の際にはHV、EV、PHV車を導入する。